

1 平成14年5月15日の大雨による災害について

(1) 気象状況

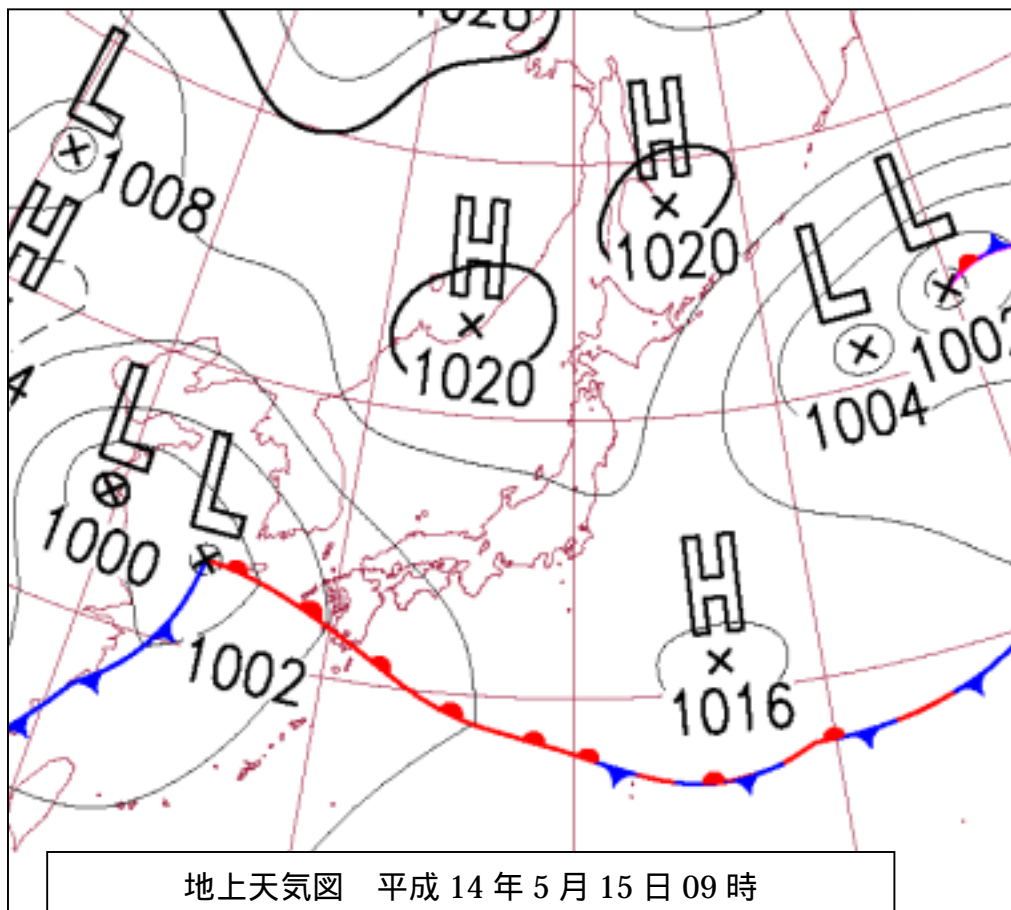
天気概況

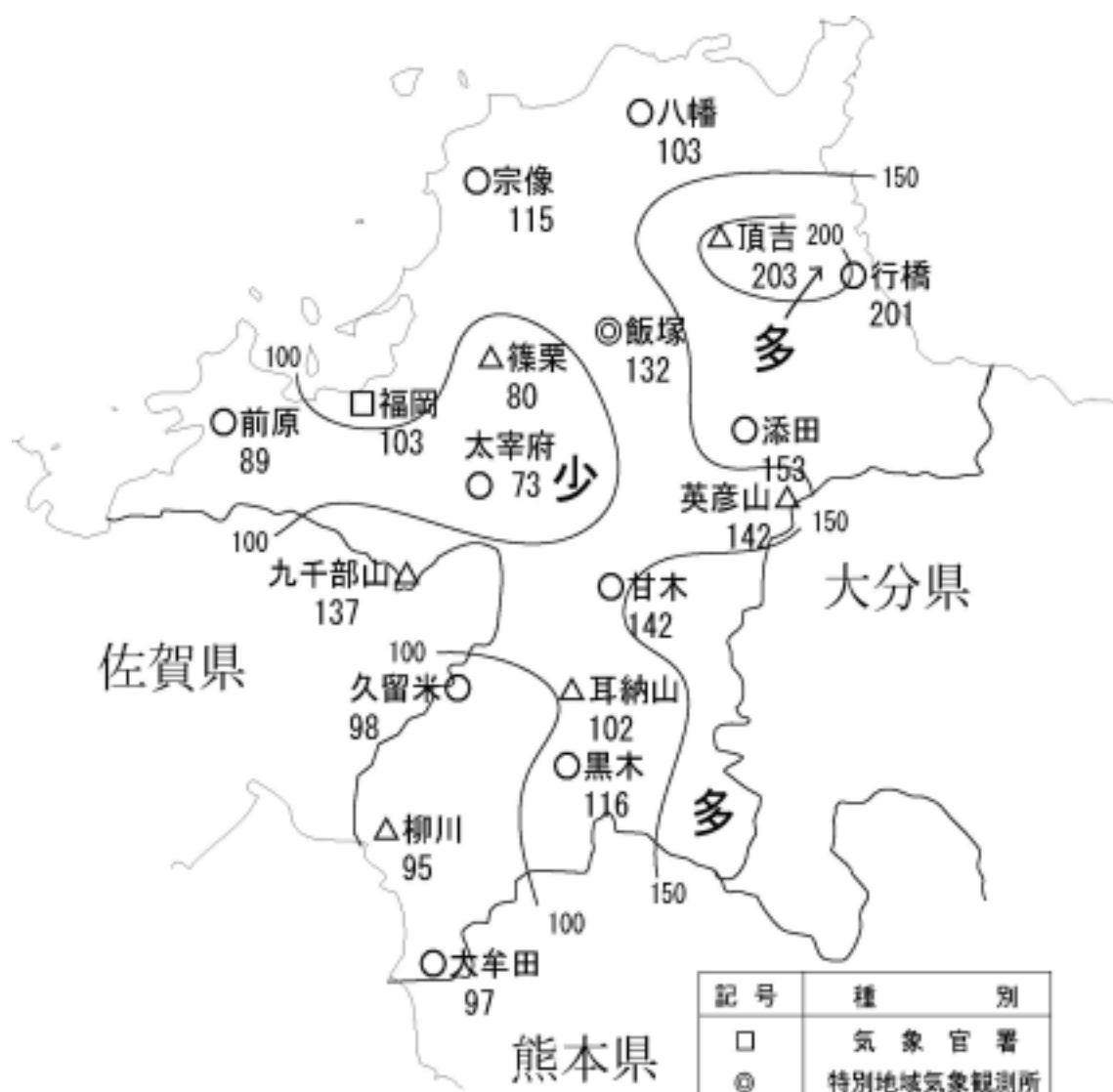
15日09時には低気圧が黄海にあって、温暖前線が九州の南海上に延びていた。

この低気圧は東進し16日09時には四国の南海上に達したが、高気圧に阻まれ動きが遅かった。このため、1時間に10～20mmのやや強い雨が長時間降り続き、北九州地方の一部では日降水量が200mmを超える大雨となった。

日降水量の多い地点は、頂吉 203mm、行橋 201mm、添田 153mm、英彦山 142mm、甘木 142mm などであった。

また、最大1時間降水量は各地点20mm以下であった。5月の日降水量としては、頂吉、行橋、添田、甘木の各地点で観測開始以来最も多い記録を更新した。





総降水量分布図 (mm)
平成14年5月15日

記号	種別
□	気象官署
◎	特別地域気象観測所
○	地域気象観測所
△	地域雨量観測所

降水量(平成14年5月15日)

単位:mm

